



20周年を迎えた「平和のための戦争展わかやま」 平和を願って1321人が来場

8月7日～9日に市民会館市民ホール、展示室を会場に、第20回「平和のための戦争展わかやま」が開催されました。1976年日本で最初の「戦争展」が、和歌山で「目で見る『戦争と私』展」として開催され、全国での「戦争展」開催のきっかけを作ったそうです。その後、1990年、「第1回平和のための戦争展わかやま」が市民会館で開催されてから、今回、記念すべき20周年を迎えました。



幻の憲法音頭を披露した河西地区民踊サークルのみなさん

みなべ在住の本田立太郎さん(95歳)の「戦争出前噺」(2000回を超える)の「憲法手渡し運動」の講演や音楽物語「ちいちゃんのかげおくり」、シャンソン歌手の堀田さちこさんのコンサートなど盛りだくさん。映画「日本の青空」も2回上映されました。

また、医療生協河西地区の民踊サークルの組合員さんが、盆踊り唄「憲法音頭」を披露しました。展示コーナーは、和歌山大空襲直前と直後の和歌山市の状況を、米軍による航空写真を初めてパネル化し、展示されました。戦争展の受付も全地区から組合員さんが参加し、分担しました。平和班会として中支部や河北支部からも参加され、貴重な展示物などを見て回り、当時の様子を思い浮かべ、平和への思いを強くしました。



「憲法9条は世界の宝」と本田さん



初公開の空襲前後のパネル



さくらんぼ班と若草班のみなさん



戦時中の暮らしを紹介

核兵器のない世界を 原水爆禁止世界大会・長崎大会に6名が参加



世界大会に参加した6名の代表

8/7～9長崎で原水爆禁止世界大会が開催され、医療生協・民医連から6名が参加しました。医療生協組合員で今回、はじめて世界大会に参加した長島さんから、感想がよせられましたのでご紹介します。



・・・市民に平和の実現を訴え続けたい・・・

原水禁世界大会・長崎大会に初参加させていただきありがとうございました。「核兵器も戦争もない世界の実現を」のスローガンで盛り上がった大会でした。私は開会式、被爆者の体験講話などすべて感動いたしました。特に動く分科会の「佐世保基地めぐり」に参加して、その実態について非常に興味をもちました。高齢であるガイドさんのお話を聞きながら、改めて、アメリカの言いなりになっている実態を聞き、怒りでいっぱいになりました。日本の国土でありながら、アメリカ軍が優先して、たとえば住宅や道路などの使用、佐世保市民の苦労などが聞けました。基地の海上コースなどをまわりながら、ガイドさんの話で実体験できました。最後に、北海道、静岡の人たちとの交流もでき、和歌山に帰って、国際署名などの活動にもっとがんばろうと思いました。和歌山県民、市民に平和の実現を訴え続けて参りたいと思います。



国際署名 6659筆

8/5現在 全地区で8月までの国際署名目標を達成しました

	東地区	中地区	南地区	河西地区	那賀地区	海南海草地区	他	合計
署名数	3,769	484	639	785	452	320	210	6659
募金額	451,882	49,400	69,330	97,410	54,000	12,000	74,151	808,173

募金は原水禁大会への参加費用や来年5月にニューヨークで開催されるNPT会議の参加費用などに使われます。

